

自然災害に備える対応力はなぜ必要か？

大規模災害が発生した後に早急な復旧・復興へと進むために、企業は事業継続計画の策定などに取り組んでいます。しかし、最も重要なのは発災時に即応できる、従業員個人の災害対応力です。本講座を通して、本当の災害対応力について、平時から防災を自分ごととして捉える感覚について考えてみましょう。

第1回：セミナー

自然災害に備える対応力はなぜ必要か？

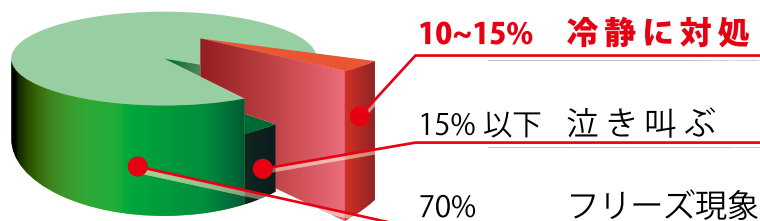
講師：スリーエムジャパン(株) 安全衛生製品事業部 片岡克己氏

過去の様々な災害事例を通して、発災時から復旧・復興のプロセスへ移行する間に何が起きるのか、何が問題なのか、そして、何を準備するべきなのかを丁寧に解説します。

日時：2018年5月25日(金) 18時～20時
場所：東洋学園大学本郷キャンパス
定員：100～150名
参加費：無料

災害に対応できる力をつける

災害に遭遇した時に冷静に対処し、即応できる人は1割程度と言われています。自分の命を守り、助けが必要な人への支援ができる状態になれる人を増やすことが、組織の災害対応力の向上に直結します。本講座はその「気づき」を提供することを目的としています。



70%

参加者の声から

今までの防災訓練とは全く異なり驚いた。
これまでの防災訓練では不十分であることを理解できた。
自分の知識不足を感じたのでお話がとても参考になりました。
災害が起こると、被災企業は社員に対して責任が問われることを知った。
被災時の心理を学ぶことが出来、実災害に近い対応力訓練の必要性を感じた。

第2回講習を開催

本セミナーで学んだ知識を身につけ、現場で活かすための体験型（実技）セミナーを2018年7月28日に開催いたします。

セミナー内容（予定）

- 1 東日本大震災の実態と教訓：BCP は現実に即しているか？
- 2 災害心理学から見た人間の行動特性：BCP 発動時、社員は居るのか？
- 3 訓練の重要性・指揮と調整：判例からの安全配慮義務とは？
- 4 災害時にトップがなすべきこと



お申し込み方法

 メールでのお申し込み

hcic-ert1@hcirc.org

下記フォームの内容をメールにてお送りください。

 ファックスでのお申し込み

03-3588-8443

下記フォームのに内容を記載の上、御送信ください。

お申し込みフォーム		お申し込み日		年	月	日
お名前（ふりがな）						
貴社名・ご所属						
ご住所						
電話番号			ファックス番号			
メールアドレス						